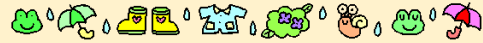




たじろ

- * 自主性：自ら挑戦する，自ら行動を起こす。
- * 寛容性：仲間の考えに耳を傾け，思いやる。
- * 自律性：誠実な心の声にしたがって行動する。



発行日：令和4(2022)年6月3日／発行者(文責)：校長 西村 茂樹

初夏の空に「エール」よ届け！

5/21(土) 心快晴



体育大会特集

走り梅雨が過ぎ、初夏の強い日差しの下で積み上げていった練習。ご家庭では、いつもより多めにお茶を持たせ、練習で疲れて帰ってきたお子様を叱咤激励してくださったのではないのでしょうか。実行委員と団長の力強いメッセージ&宣誓で開会した当日は、「困難を乗り越えるから成長する」の言葉通りの大会となりました。



遠い異国の戦渦が、日々伝わってくる不穏な社会情勢。生徒一人一人のこの煌めきが、「平穏な日々」や「平和」の尊さを思う希望のエールになったとしたなら、それは嬉しいことだなあと思っております。大会で得た「感動」と「達成感」、そして培った「絆」を、次の一步を踏み出す“力”にしてほしいと願うばかりです。



【スローガン考案：日高 さん(2年), 阿久津 さん(3年) / 制作：美術部】

全力で走り抜く価値

有名な「ウサギとカメ」のお話。ウサギはカメを見て走った。一方、カメが見ていたのはウサギではなくゴールだった！



支え合う集団

笑顔だと安心するね。声を出すと息が合う。励まされると力が湧く。支え合い・助け合う集団は、みんなが伸びる。



感動

ひたむきに頑張っている姿は、感動を生む。スポーツだけではなく。ゴミを1つ拾う姿にも感動するのです。



リーダーの思い

下級生を引っばっていかねばならない重責。命令だけでは誰もついてこない。だからリーダーは努力し、自らを磨きます。

待ち望んだ体育大会。制限さえも楽しみながら準備をし、練習を重ね、新しい伝統を創ろうと前向きな思いで取り組んできました。今日は、澄みきった青空の下、赤い太陽に照らされながらオレンジのエネルギーを爆発させ、芽吹いた緑のようにグングン伸びゆく私たちの力。互いのベストを認め合う白い純粋な心を持ち、今こそ世界に1つだけの黄色い輝く光となって、桜のように満開の笑顔の花を咲かせましょう。

保護者の皆様、今日は私たちの勇姿を最後まで見ていただき、声援をお願いします。そして、今日のために支援してくださった先生方に感謝します。それでは皆さん、今日という日は二度とありません。今しかできないことを Do your best !

実行委員長 鶴田
同副委員長 久保田
岳



7色のメッセージ



祝 総合優勝 桜団



闘い終わって

努力しても、必ず結果が出るとは限らない。けれど、努力した人は成長する。感謝される人になる。



笑顔輝け

仲間の応援、拍手。笑顔あふれる大会になりました。楽しいから笑い、笑うから楽しいのです。温かい笑顔は最強です。

お礼

1年生のときから1度もご案内ができなかった3年生保護者の皆様、お子様の成長ぶりはいかがだったでしょうか。裏方で力を尽くした生徒、小さくても自分なりの挑戦をした生徒もいます。それぞれの成長を感じとってくださいましたものと思います。ご協力、誠に有り難うございました。



下級生は上級生の姿にあこがれて成長していく。「感謝」と「賞賛」を交わしながら、次が育っていく。体育大会ならではの喜びがありました。来年こそは、すべての保護者の皆様をご案内できますように！



終止符

昼食後は、振り返り（感想書き）と後片付け。そうして心と身体に丁寧に終止符を打ちました。何事も終わりが大切です。



田代中 自転車事故「注意警報」発令中！

前号で、本校の自転車通学に関する現況と「ヒヤリハットの法則」などについてお知らせをしました。学校では、部活動のない日の一斉下校時などは、混雑を避けるために学年毎に「時差下校」をさせたり、職員が要所に出向いたりしていますが、5月の後半から6月にかけても怪我を伴う事故が発生しました。心配が尽きません。

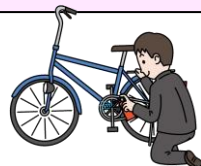


自転車運転の“未熟さ”が要因と思われるケースもありますが、やはりルールやマナーに主な原因がある場合が多いです。例①：自転車同士の接触事故 ⇒ 狭い道路を2列3列でかたまっている。車間距離がとれていない。例②：下り坂での事故 ⇒ スピードの出過ぎ。



お知らせ

前号で、6月行事予定を掲載しましたが、1つだけ追加いたします。
▶ 6/22日(水) PTA主催「自転車点検」 ※お世話になります。



令和4年度
学校教育目標

夢に向かって目標をもち、
チャレンジする生徒の育成

